

安倍退陣へ、野党共闘の前進を力に 大平さん 議席奪還の決意訴え



12月10日昼、広島県委員会は臨時国会閉会にともなう街頭宣伝を行いました。大平喜信前衆議院議員がマイクを握り、臨時国会では野党が一致結束して徹底追及をしてきたことを報告。そして、安倍内閣の「桜」疑惑の逃げ切りを許さず閉会中も、来年の通常国会でも徹底して追及していくことを報告しました。(写真)そして、大平さんは、「その徹底追及の先頭に立っている日本共産党の議席を大きくしてほしい」と訴え、来るべき総選挙での比例中国ブロックでの議席回復の決意を訴えました。

大平さん 浜田・江津で宣伝・懇談・つどい

大平喜信前衆議院議員は12月12日、13日と浜田市と江津市を訪れ、両市の議員や党員の皆さんと一緒に、浜田の商工会議所、JA島根いわみ中央との懇談、さらに江津市で街頭宣伝やつどいに取り組みました。(写真は、浜田市商工会議所との懇談)

大平さんは、「懇談した幹部の方が最後におっしゃった『わしらはどうしたってここで生きていかんといけんのです』との言葉が胸に響いた。また、『皆さんのぶれなさを信頼してます』との挨拶に励まされた」と語っています。



総選挙へ 市民と野党の共闘を「おかやまっぽん」が集会



12月14日岡山市内で「おかやまっぽん」主催で「地域のチカラをひとつに、ぎゅっとつかむ市民による衆院選・スタート集会」が開催されました。今年7月の参院選の選挙区で勝利した滋賀県の「市民の会滋賀」の代表の講演を聞き、岡山でも衆院選勝利への「市民と野党の共闘」の前進を誓い合いました。

集会では「共闘はここまで進んだ」というテーマで立憲民主党、国民民主党、日本共産党、社会民主党の各立憲野党が発言、日本共産党を代表して大平喜信前衆議院議員が発言しました。(写真)